

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 1 1 月号

（1）らっきょうの花を小学校に贈呈

鳥取砂丘らっきょうの魅力アップを図る「未来へつなぐらっきょう将来ビジョン研究会（西尾祥幸代表）」は10月21日、鳥取市立小学校12校に、市の花である“らっきょうの花”を贈った。らっきょうに興味を持ってもらうため4年間続けており、5年かけて市立小の全41校に贈呈する計画。



（2）自転車イベントで柿・梨をPR

J A 鳥取いなばは10月20日、県東部で開かれた自転車イベント「鳥取すごい！ライド」の参加者に、旬の柿や梨、はとむぎ茶などを配布し、特産品をPRした。地域貢献・地域活性化の一環でイベントに参加し、休憩ポイントで、特産の柿「西条」、梨「新興」、早生リンゴ「ふじ」のほか、「鳥取のはとむぎ茶」や梨シャーベットなどを提供した。



（3）子ども農業教室で牛とのふれあい

J A 鳥取いなばは10月26日、子ども農業教室を開き、畜産農家の仕事内容の勉強や牧場でエサやりを体験。生きるために、家畜の命をいただいていることを忘れず、感謝の気持ちを持つことを伝えた。美敷牧場を訪問し、牛のエサやりで体の大きさや食べる姿を観察したほか、頭をなでて触れあった。



（4）女性会が八東で生産者消費者交流会

J A 鳥取いなば女性会は10月29日、生産者と消費者の交流会を開いた。八頭町でリンゴ収穫体験と広域あんぼ柿加工施設を見学したほか、柿生産者と意見交換し、地産地消が農業の維持・発展につながると消費者に呼び掛けた。広域あんぼ柿加工施設では、特産の柿「西条」の加工作業を見学し、参加者は柿加工に興味津々な様子だった。



(5) 園児がサツマイモ収穫体験

J A鳥取いなば郡家支店は10月9日、郡家保育所の園児を招いてサツマイモ掘り体験を八頭町で開いた。園児らは大きいサツマイモを掘りあてると歓声をあげて喜んでいた。食農教育の一環として、サツマイモの植付けと収穫を体験。サツマイモは各家庭に持ち帰って味わったほか、同支店の農協まつりで焼き芋にして園児にプレゼントした。

